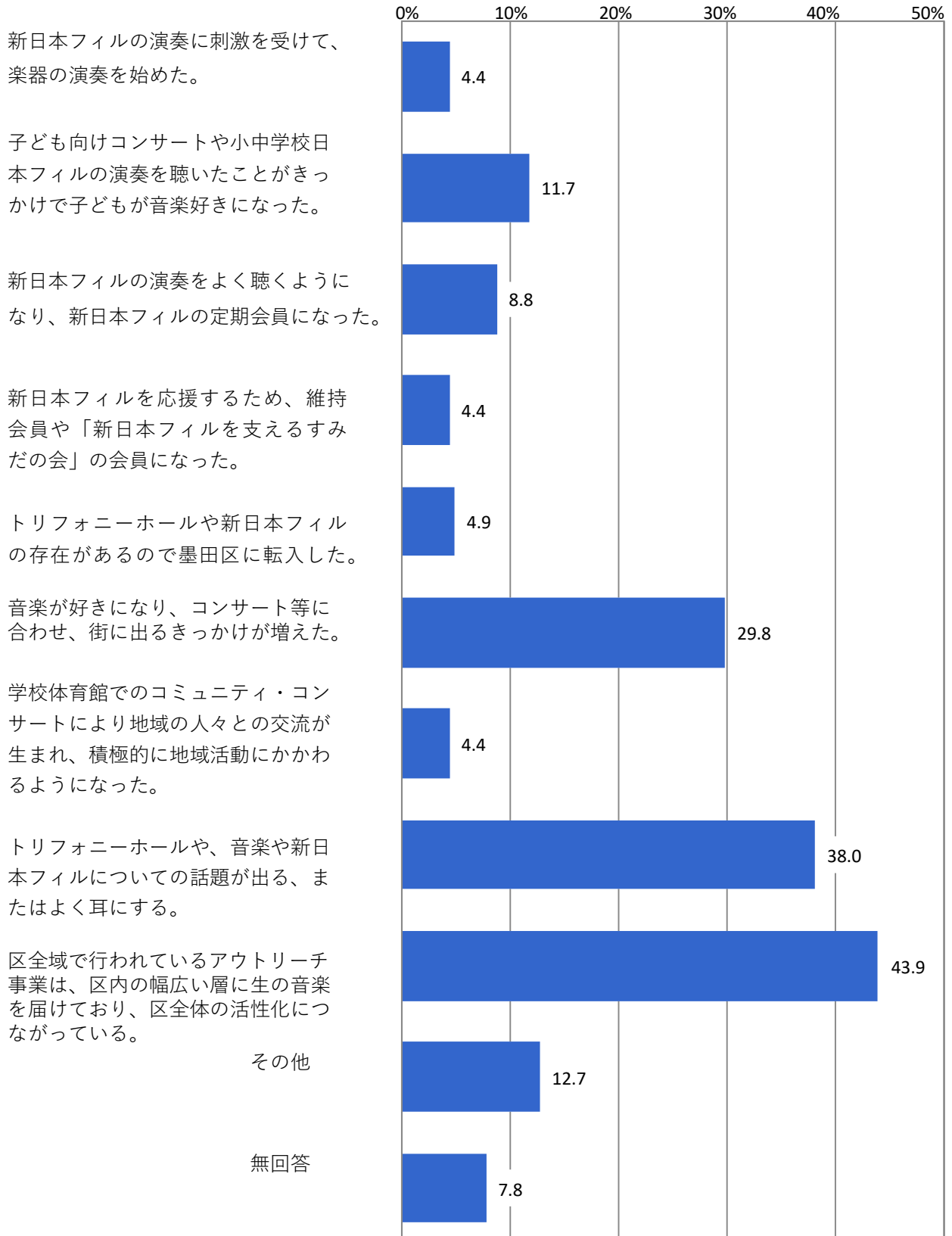


【主な調査結果】（アンケート結果の詳細は、この画面の最終ページの一番下にある別紙「調査結果」のリンクからご覧いただけます。）

アウトリーチ事業による、あなたご自身や、あなたの家族、友人、知人など周囲の方々の中でのエピソードや、地域の変化について（複数回答可）

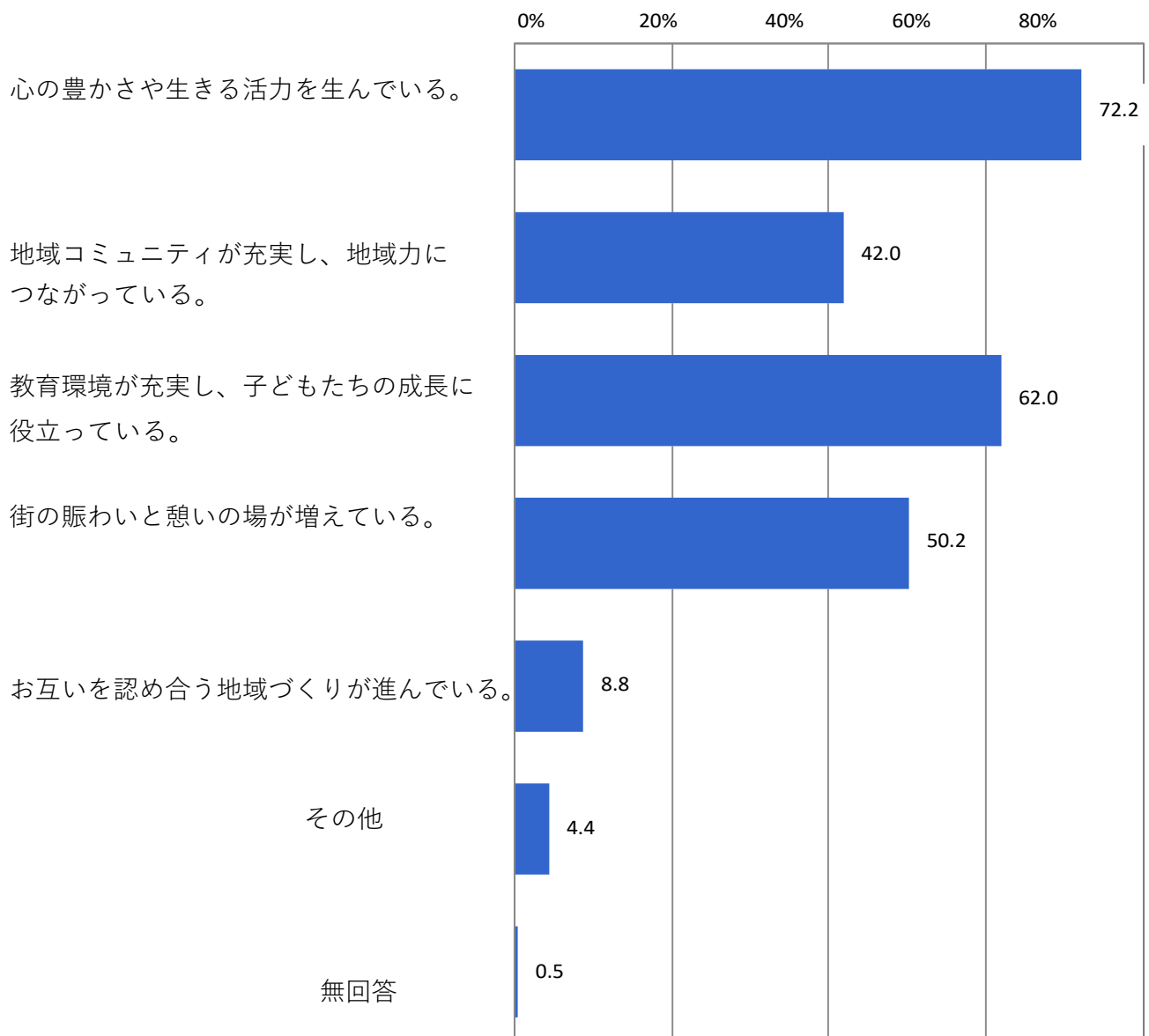
「区全域で行われているアウトリーチ事業は、区内の幅広い層に生の音楽を届けており、区全体の活性化につながっている」（43.9%）と最も高く、以下、「トリフォニーホールや、音楽や新日本フィルについての話題が出る、またはよく耳にする」（38.0%）、「音楽が好きになり、コンサート等に合わせ、街に出るきっかけが増えた」（29.8%）が上位を占めている。



これまでのトリフォニーホールのさまざまな事業展開の中で、とりわけ教育、福祉、子育て支援などの行政課題の解決や、世代、地域を超えた人と人とのつながりを形成する事業についての積極的な取り組みが、地域社会へもたらした変化について

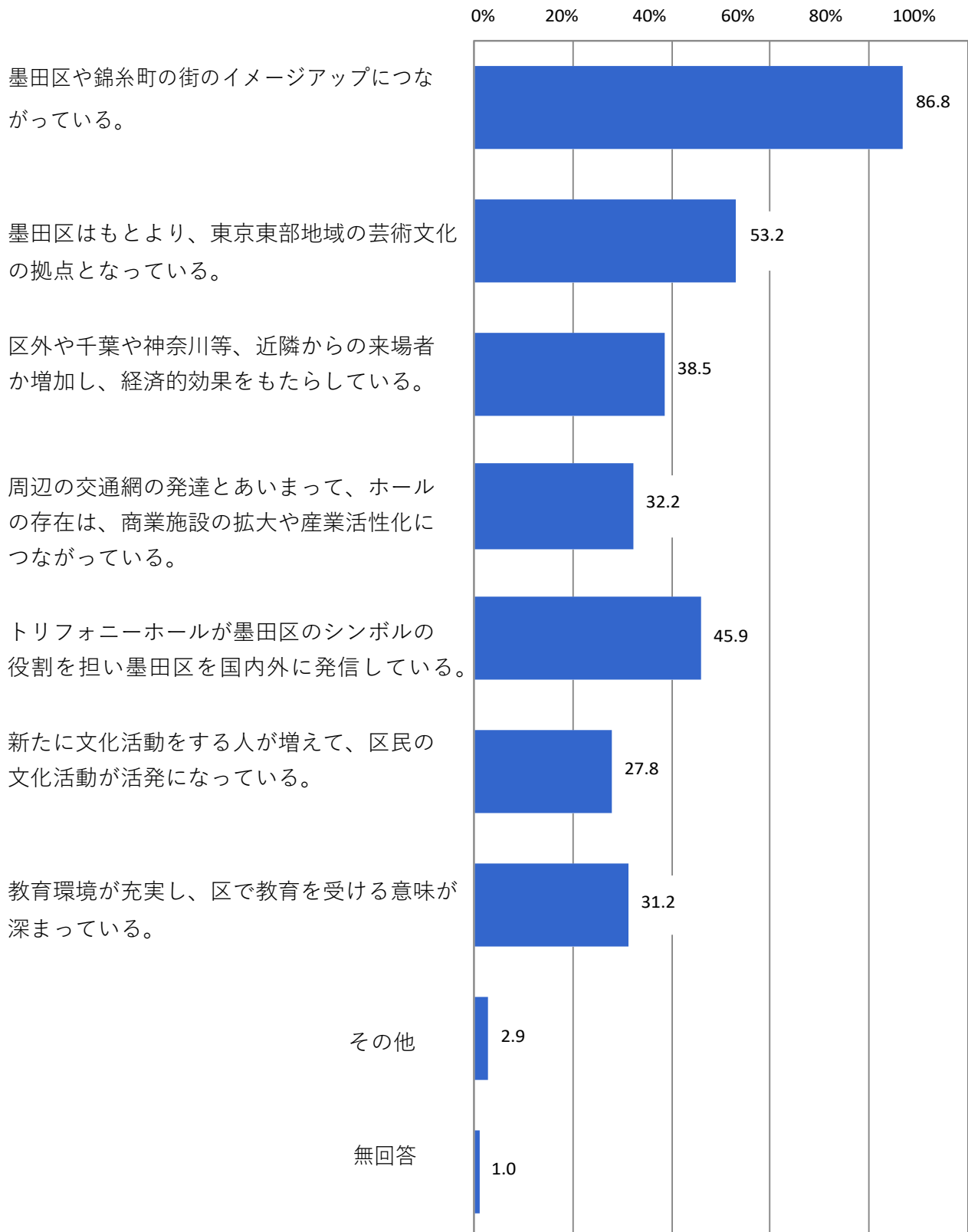
(複数回答可)

「心の豊かさや生きる活力を生んでいる」(72.2%)が7割を超え、以下、「教育環境が充実し、子供たちの成長に役立っている」(62.0%)、「街の賑わいと憩いの場が増えている」(50.2%)がいずれも過半数を超えている。



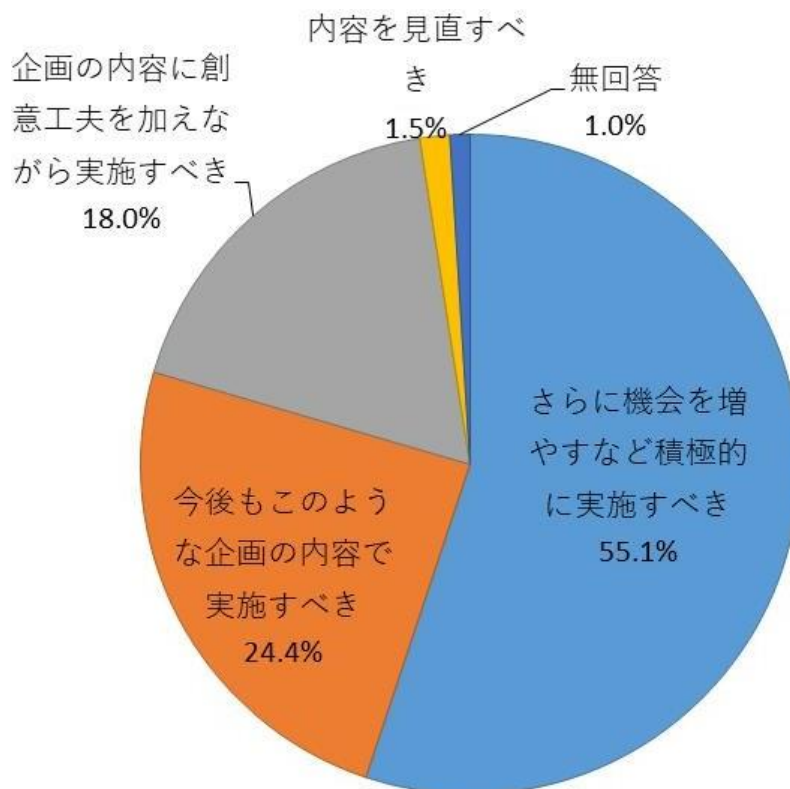
開館以来、トリフォニーホールが音楽都市構想の下、「区民に音楽などの鑑賞機会と音楽活動の場をつくり、芸術文化事業によって、文化的に豊かなまちづくりをめざす」ことを目的に事業を展開してきたことによる、墨田区においての「文化芸術が人々の暮らしにもたらした効果」について(複数回答可)

「墨田区や錦糸町の街のイメージアップにつながっている」(86.8%)が約8割と最も高く、以下、「墨田区はもとより、東京東部地域の芸術文化の拠点となっている」(53.2%)、「トリフォニーホールが墨田区のシンボルの役割を担い、墨田区を国内外に発信している」(45.9%)と続いている。



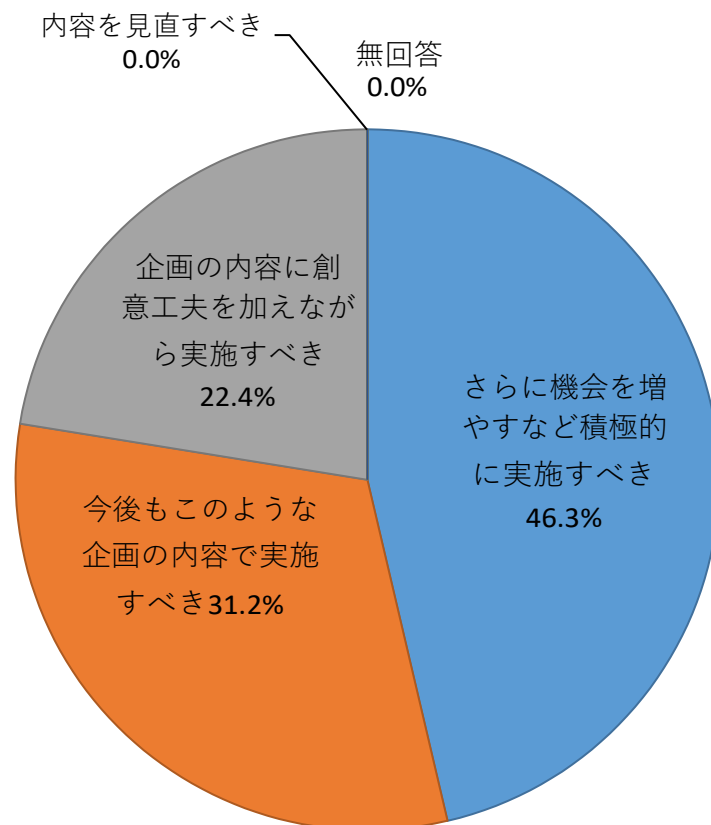
「坂東玉三郎 お話と素踊り公演(令和3年7月3日実施)」、「布施明meets新日本フィルハーモニー交響楽団(令和3年12月9日実施)」など、著名アーティストによる区民の皆様がホールを身近に感じられるような事業についての感想

「さらに機会を増やすなど積極的に実施すべき」(55.1%)が5割を超え、「今後もこのような企画の内容で実施すべき」(24.4%)、「企画の内容に創意工夫を加えながら実施すべき」(18.0%)と続いている。9割以上の方が、内容に工夫を加えながらも実施すべきと思っており、特にそのうちの半数以上が積極的な実施を望んでいる。



教育・福祉・子育て支援等の様々な行政分野の課題解決に寄与するための「誰でもコンサート」や「リラックスコンサート」の公演についての感想

「さらに機会を増やすなど積極的に実施すべき」(46.3%)が最も高く、「今後もこのような内容で実施すべき」(31.2%)、「企画の内容に創意工夫を加えながら実施すべき」(22.4%)と続いている。約9割以上の人々が、内容に工夫を加えながらも実施すべきと思っている。



別紙「調査結果」(令和3年度第3回区民モニターアンケート集計結果)